



銚子ジオパーク推進 市民の会ニュース

第73号 2017年8月24日 発行

連絡先：茂木（090-8947-2869）

HP：<http://choshi-geopark.com>

親子で夏の自由研究が
終わる

銚子ジオパーク推進協議会 山田 雅仁

協議会では、主として小学生を対象に夏休みの宿題の一つとなつて自由研究を親子で考えながら、仕上げていく企画として、「親子で夏の自由研究ツアー」を主催した。

今年7月のテーマ「夏休みの天気図日記、海藻押し葉をつくろう!」、目指せ!化石博士!、きこの探検隊!、銚子の風を調べよう!、目指せ!石ころ博士!、銚子の海岸でお宝さがし☆ビーチコーミング」を設定した。

募集人数が合計190名に対して、申込者数は、合計して親子で合計743名であったので、倍率は約3・9倍であった。

各ジオツアー終了後に、アンケート調査を行った。アンケートの回収率は保護者が92%、子どもが100%だった。その結果として、この企画の情報源の約3~4が学校からのチラシ配布であることがわかった。

参加の動機については、保護者が「子どもの学校の宿題を完成させたいと思ったから」が最も多く、子どもが「内容に興味があったから」が最も多かった。「満足度は、「満足」、「やや満足」を合わせると90%以上となった。次回以降の参加意向は、保護者が90%近くを示した。感想の頻出語を集計すると、「楽しい」、「ありがたい」が多かった。子どもの住所別参加割合によれば、銚子市民が23%、市外が77%となった。

ている。今後とも、互いに協力し合つて、銚子ジオパークを推進していきたいらしいですね。

宮内 敏

今年も去る8月1日(土)、抽選で選ばれた親子(小3~6)十八名が参加して行われました。(二二名の予定でしたが風邪のため二組四名の欠席がありました) スタッフは銚子ジオパーク推進協議会事務局の山田雅仁さん、サポートとして市民の会から宮内秀さん萩野静也さん新井芳恵さん、宮内敏の四名が参加しました。

「銚子の風を調べよう!」サポート報告

宮内秀さんの指導で簡易風速計による測定を行った後、バスで銚子地方気象台に向かいました。移動中、秀さんから測候所見学の事前説明がありました。

気象台に着くと、係の方から測候所の概略説明があり「何か質問は?」と問われると、神奈川県から移られたお母さんから「銚子はなかなか警報が出ないような気がします」と質問されました。係の方から「銚子は三方が海で島並の基準なの

で警報を出す基準が高くなっています」との回答があり、お母さんは肯いているようでした。

節風、海陸風、偏形樹、潮風害の話があり、「波について」は市民の会の萩野さんが説明しました。

その後、露場に出て、雨量計等の観測機器の説明を受けました。すべてが遠隔測定になつており、昔の百葉箱を知る者としては大きな様変わりです。人員もかなり削減されているとのことでした。屋上では気象大学の学生さんから観測機器の説明がありました。案内が学生さんだと分かる

と、お母さん方から入学試験の倍率や卒業後の勤務先などの質問があり、学生さんから「定員、倍率、転勤が多いこと」など話されました。最後にコンピュータや機器が並ぶ部屋で仕事をされている現場を見学しました。

午後には文化会館での講義と作業です。山田さんから季節風、海陸風、偏形樹、潮風害の話があり、「波について」は市民の会の萩野さんが説明しました。

午後には文化会館での講義と作業です。山田さんから季節

今月の俳句

銚子港 利根を背にして 夏がゆく
短夜や あれもこれもと 何もせず

保立 得造

屏風ヶ浦で風を調査中

